

基本目標 1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために

施策 02 防犯対策の推進

目的

《対象》市内にいるすべての人

《意図》安心して生活できる安全な環境をつくる

施策の方向

○市民一人一人の身近な犯罪に対する防犯意識の向上と防犯行動の促進、地域ボランティアによる防犯活動の促進、市民、地域、警察、行政の協力体制の維持・向上により、市民が安心して生活することができる犯罪のないまちづくりを目指します。

施策の達成状況

まちづくり指標	基準値	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標値
治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	78.8% (H26)	79.3%	78.8%	81.0%	80.4%	84.4%	80.0% (H30)
市内刑法犯認知件数（暦年）	2,234 件 (H25)	2,234 件	2,158 件	2,002 件	1,790 件	1,576 件	1,900 件 (H30)

その他

- 地域によるパトロール活動の支援（平成 29 年：76 団体、うち青色防犯パトロール 4 団体）
- 子ども安全・安心パトロール及び夜間安全・安心パトロールの実施
- 自動通話録音機の貸出し事業の実施（平成 30 年 1 月末時点累計約 600 台）
- 小学校の通学路への防犯カメラの設置（平成 29 年度末時点 各校 3 台計 60 台設置） など

■ 現状と課題

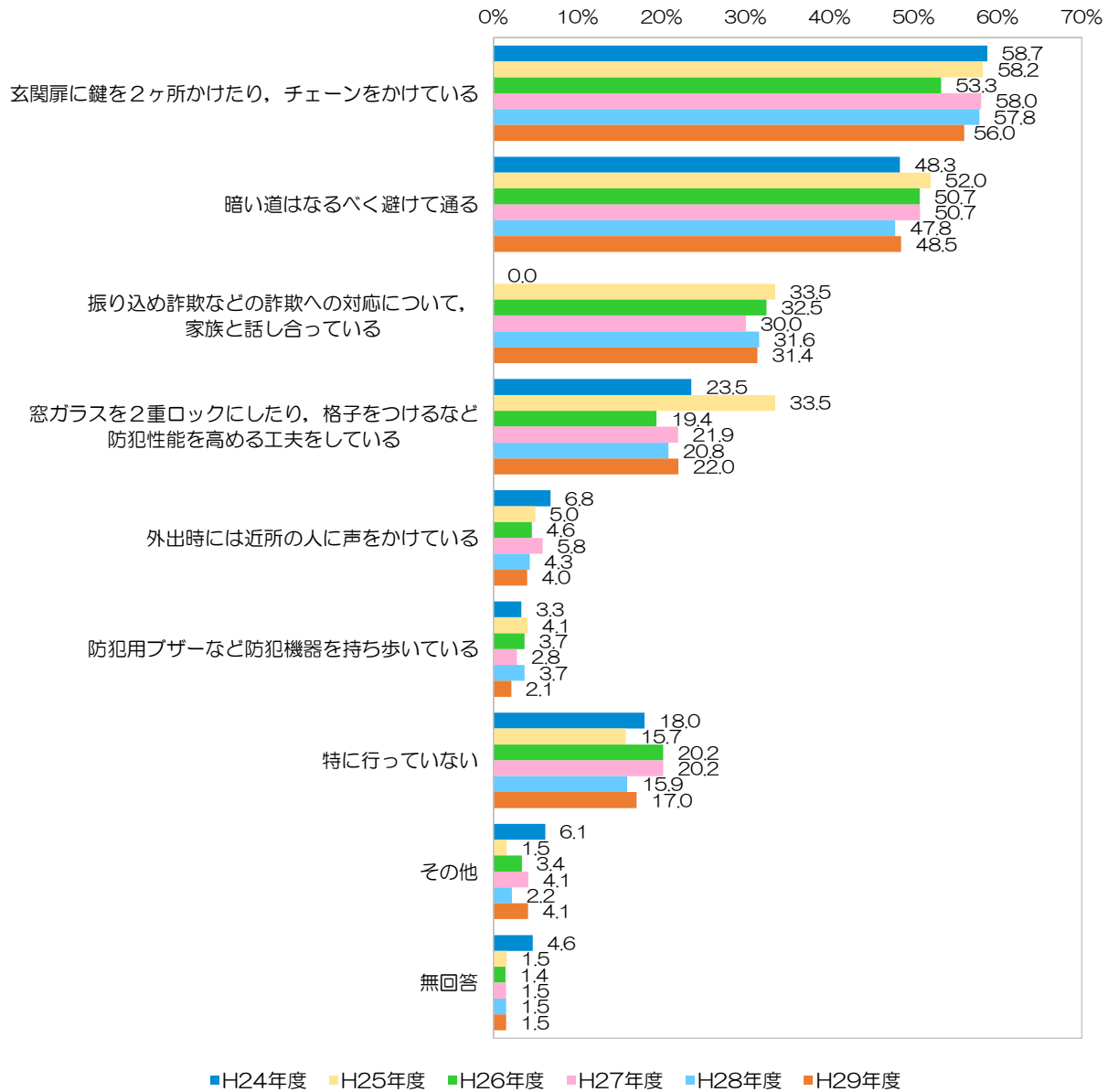
- 調布市内刑法犯認知件数は減少傾向にありますが、万引きや空き巣、自転車盗など身近な犯罪は、未だ多い状況にあり、市民、地域、警察、行政が連携し対策を進めていく必要があります。
- 各種の犯罪発生を未然に防止するため、小学校の通学路への防犯カメラの設置や、自治会や商店街などの団体による防犯カメラの設置について推進しています。今後は、街頭防犯カメラの設置促進に向けた支援体制の検討のほか、市が設置する防犯カメラについて、平成 29 年 12 月に施行した街頭防犯カメラ設置要綱に基づき、具体的な設置場所について、関係機関と連携しながら検討していく必要があります。
- 特殊詐欺被害の防止に向け、調布警察署及び関係機関と連携しながら、市報やホームページ、調布市防災・安全情報メール、ツイッター、啓発用 DVD など各種媒体を活用した広報啓発活動や自動通話録音機の貸出を継続するなど、被害防止対策に取り組んでいます。
- 犯罪抑止対策として、引き続き、青色回転灯装備車による安全・安心パトロールを実施するほか、地域でのボランティア活動の充実に向けた支援を実施していく必要があります。

■ 次期基本計画策定に向けた主なポイント

- 誰もが安心して暮らせる安全な地域社会を実現するため、警察をはじめとする関係機関との連携・協力のもと、地域で支え合い、守り合う自主的な防犯活動を促進し、犯罪を未然に防止し、安心して暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会及び東京 2020 大会に向け、東京都をはじめ関係機関と連携しながら、安全・安心の確保に向けた取組を進めていく必要があります。
- 特殊詐欺の被害防止に向け、引き続き、調布警察署等と連携しながら、様々な媒体を通じて詐欺被害の最新の傾向と対策の周知啓発に努めるとともに、関係機関と連携した被害防止対策に取り組む必要があります。

◆日頃から防犯対策として行動している市民の割合

平成 24 年度以降、特に行っていないと答えた市民は 15%以上を推移しています



資料：調布市民意識調査

◆調布市の防犯の取組

安全・安心パトロール	防犯パトロールの支援
◆青色防犯パトロール(青色回転灯を装着した車両によるパトロール)	地域における防犯まちづくりを進めるため、防犯パトロール用品の貸与により、地域の自主防犯活動を支援
◆子ども安全・安心パトロール…下校する児童・生徒の安全を守るため、小・中学校や児童館などの施設や通学路を重点としたパトロールを実施	◆地域での自主的な防犯パトロール ・防犯ベスト、腕章、防犯ブザー付防滴ライト、赤色灯、防犯笛、自転車カゴプレート、防犯キャップの貸与
◆夜間安全・安心パトロール…夜間から翌朝にかけて、ひたたくり、車上ねらい、侵入盗などの犯罪被害を防ぐため、交番から離れた地域や明かりの少ない道路などを中心に市内全域をパトロール	◆わんわんパトロール(愛犬との散歩の時間を活用したパトロール) ・トートバック、バンダナ(大・小)の貸与
	◆青色防犯パトロール(自家用車を活用) ・青色回転灯の貸与、活動費(燃料費)の一部補助
	◆ボランティア活動の安心対策 ◆ボランティア保険の加入補助

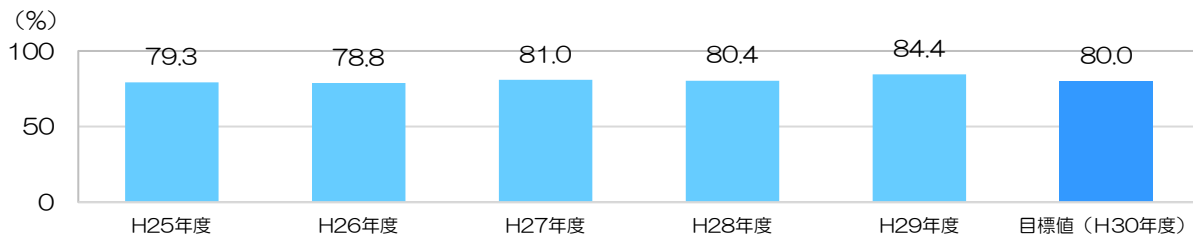
資料：調布市ホームページ、調布市事務報告書(平成 28 年度)(総合防災安全課)

02-1

身近な犯罪に対する防犯意識向上と防犯活動の推進

【まちづくり指標】 治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合

治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合は、8割に達しており、3年連続で目標値を達成しています

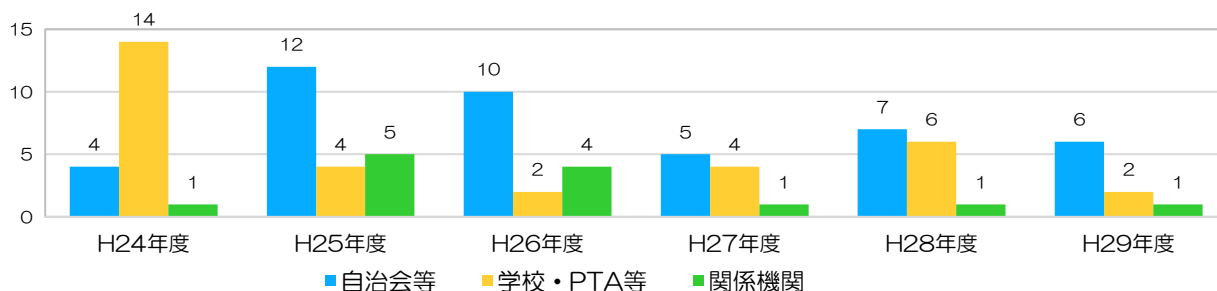


資料：調布市民意識調査

◆防犯パトロール支援用品貸与団体

自治会等及びその他の団体への防犯パトロール支援用品貸与は横ばいです

(団体)



資料：総合防災安全課

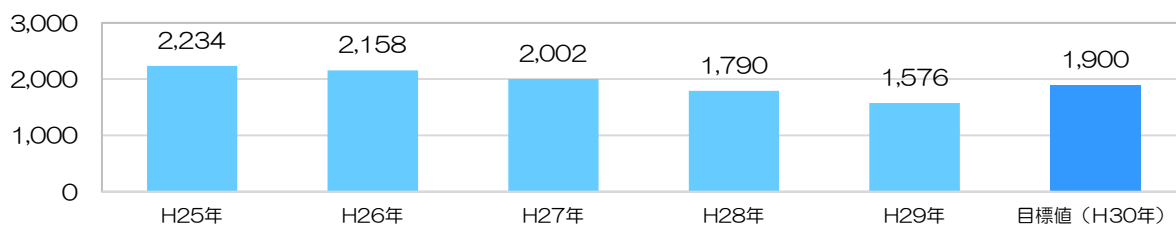
02-2

犯罪抑止対策の推進

【まちづくり指標】 市内刑法犯認知件数（暦年）

年々犯罪件数は減少しており、すでに目標値を達成しています

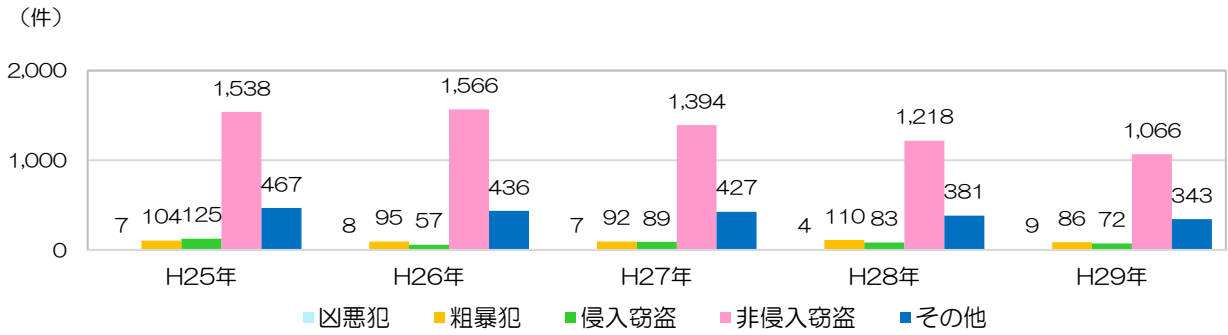
(件)



資料：調布市行政評価

◆市内刑法犯認知件数（犯罪別）

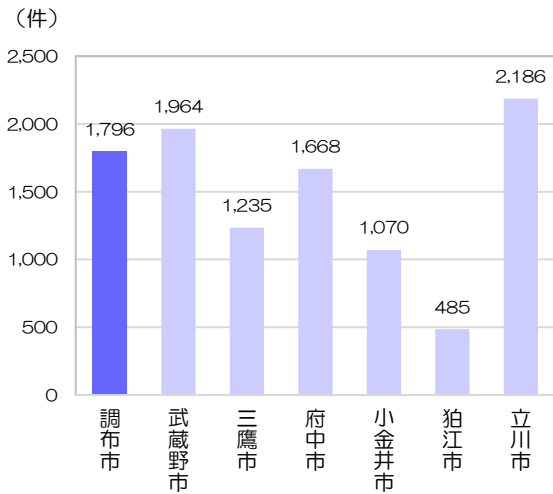
犯罪別にみると年ごとに件数の増減がありますが、刑法認知件数は減少傾向にあります



資料：警視庁ホームページ

◆刑法犯発生件数（平成28年比較）

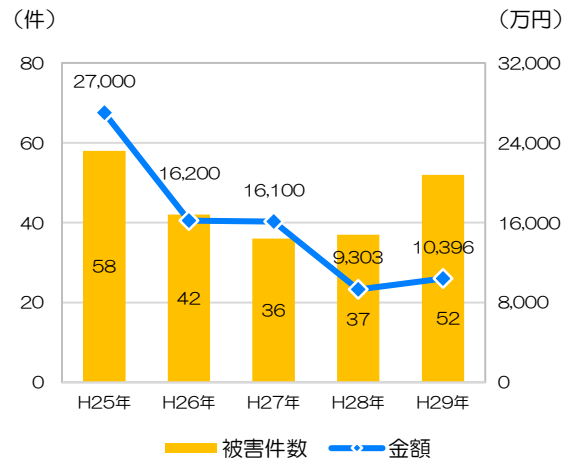
近隣自治体の中で、調布市は3番目に刑法犯発生件数が多くなっています



資料：警視庁ホームページ

◆振り込め詐欺などの被害件数と金額の推移

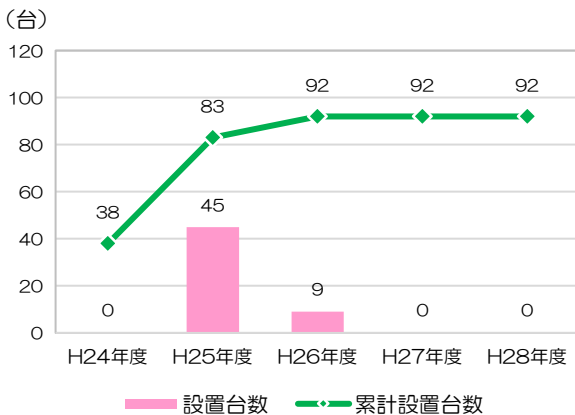
被害件数・金額ともに減少していましたが、平成29年は増加に転じました



資料：総合防災安全課

◆自治会や商店街における防犯カメラ設置台数の推移

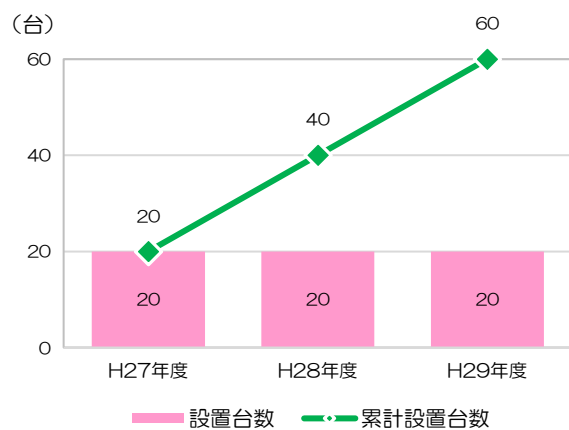
自治会や商店街における防犯カメラは平成27年度以降設置されていませんが、平成29年度に19台更新がなされています



資料：総合防災安全課

◆小学校の通学路等を撮影する防犯カメラ設置台数

全小学校（20校）に対して、各年1台ずつ防犯カメラを設置しており、通学路における安全対策に取り組んでいます



資料：学務課

多様な主体との連携事例

第67回 “社会を明るくする運動”

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を求めるとともに、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動を、犯罪防止や青少年の健全育成などの活動を行っている団体による推進委員会で取り組んでいます。

【所管課】

福祉健康部 福祉総務課

【協働のパートナー】

社会を明るくする運動調布市推進委員会（調布市，調布保護司会，更生保護女性会，調布市民生児童委員協議会，健全育成，補導連絡会，学校PTA 他）



＜社会を明るくする運動
「中学生サッカー教室」＞

